

医師国家試験に関する公開シンポジウム

# 日本の医学教育の現状と 医師国家試験

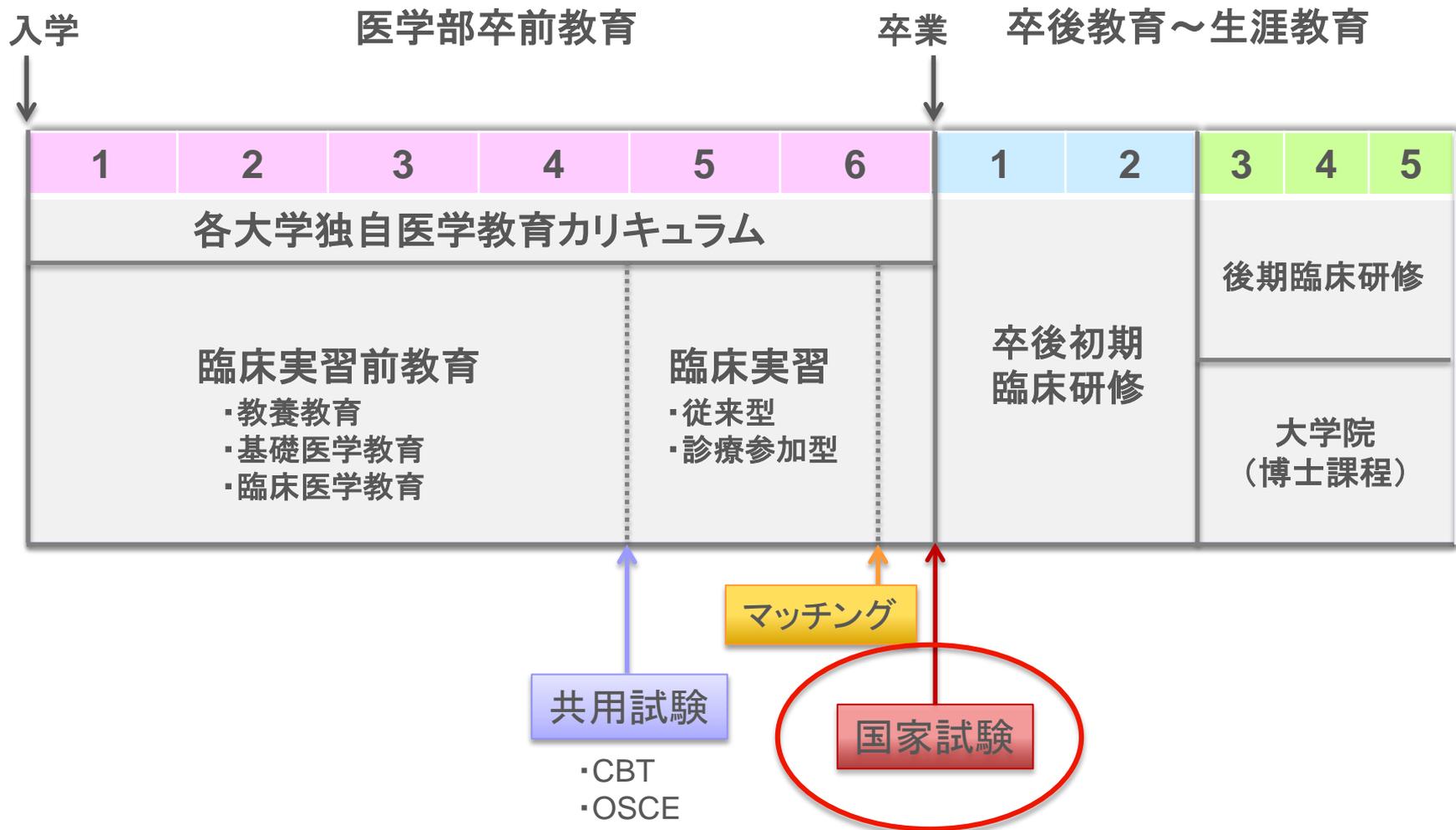
全国医学部長病院長会議共用試験検討委員会  
医道審議会医師分科会医師国家試験改善検討部会

中谷 晴昭

# 日本における医学教育制度の改革

- モデル・コアカリキュラム（平成13年提示、19年、22年改訂）
- 卒後臨床研修制度（平成16年開始、22年改訂）
- 共用試験の本格実施（平成17年開始）
- 医師国家試験の改革（4年毎）
- 診療参加型臨床実習の充実化  
国際的な観点から実習内容・期間の充実

# 日本の医師養成システム



# 我が国の大学医学部の臨床実習期間

我が国の医学生は欧米の医学生に比べて、医学的知識では見劣りがしないものの、卒業時の基本的臨床能力では劣っている。

	全国平均	国立大学平均	公立大学平均	私立大学平均
1985年	38週	38週	35週	40週
1995年	43週	43週	38週	45週
2013年	54週(40-78)	56週(40-78)	51週(43-56)	51週(42-74)



**十分な期間と内容の充実が必要！**

# 共用試験資格化への提言

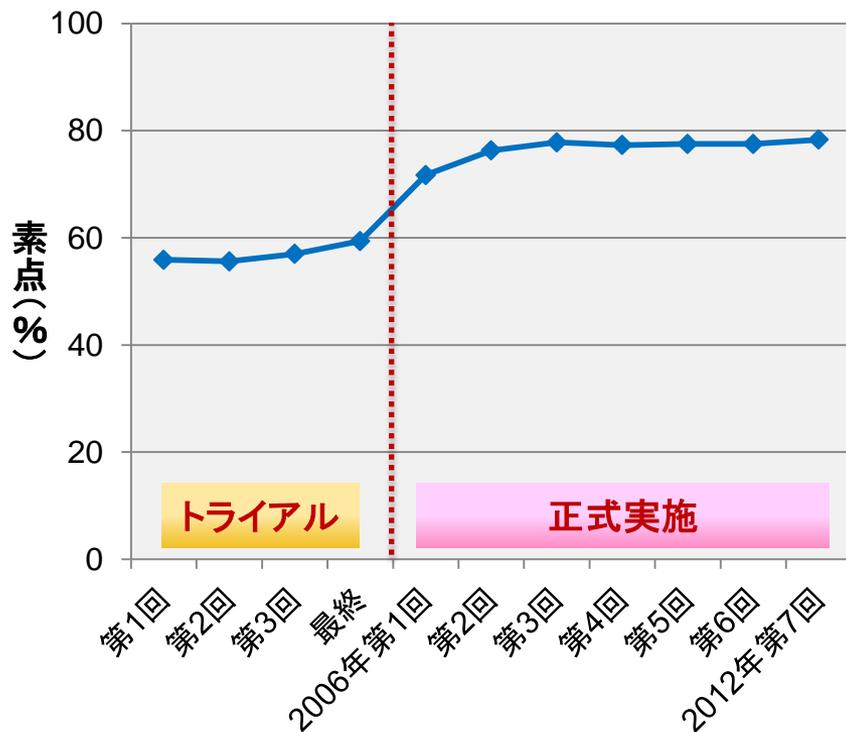
- 医学教育カリキュラム検討会(平成21年5月、荒川正昭座長)  
「共用試験の位置付けを明確化し、統一的な合格基準を設定、合格者に一定の証明書発行」
- 医師国家試験の改革  
知識偏重を是正し、臨床能力の評価を重視する
- 全国医学部長病院長会議グランドデザイン(平成23年12月)  
共用試験合格を臨床実習を行う資格と認定

# 臨床実習のさらなる充実化に向けて

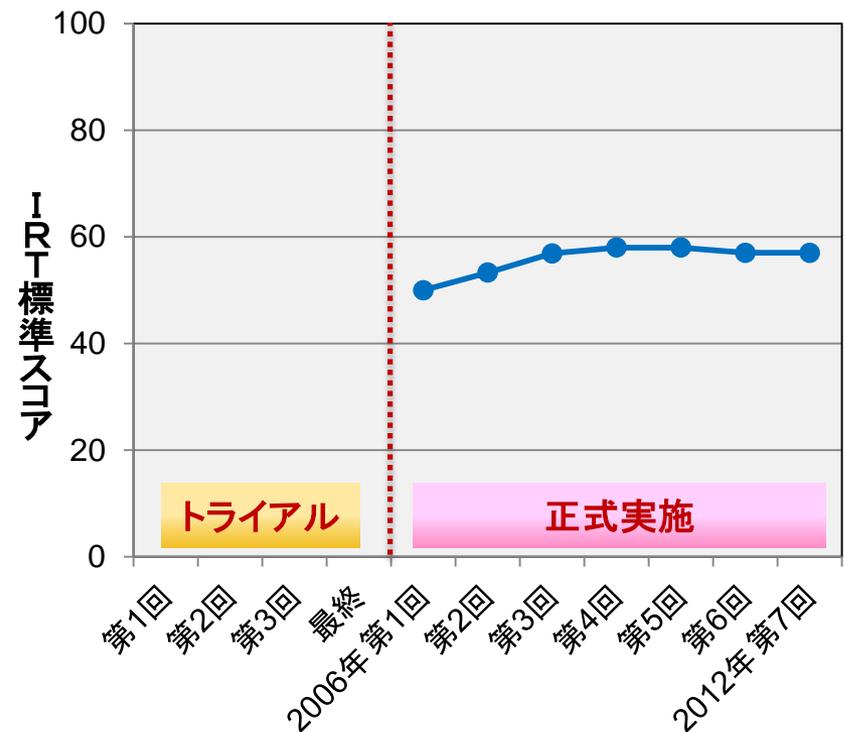
- **共用試験(CBTおよびOSCE)の資格化**  
実習開始前の学生の能力と適性の厳正な評価  
全国医学部長病院長会議からの認定書発行
- **Student Doctorとしての診療参加型臨床実習**  
「資格化」により国民・患者の理解が深まる  
十分な実習期間の確保と内容の充実化

# これまでのCBT成績の経年変化

## 素点の平均(%)の推移

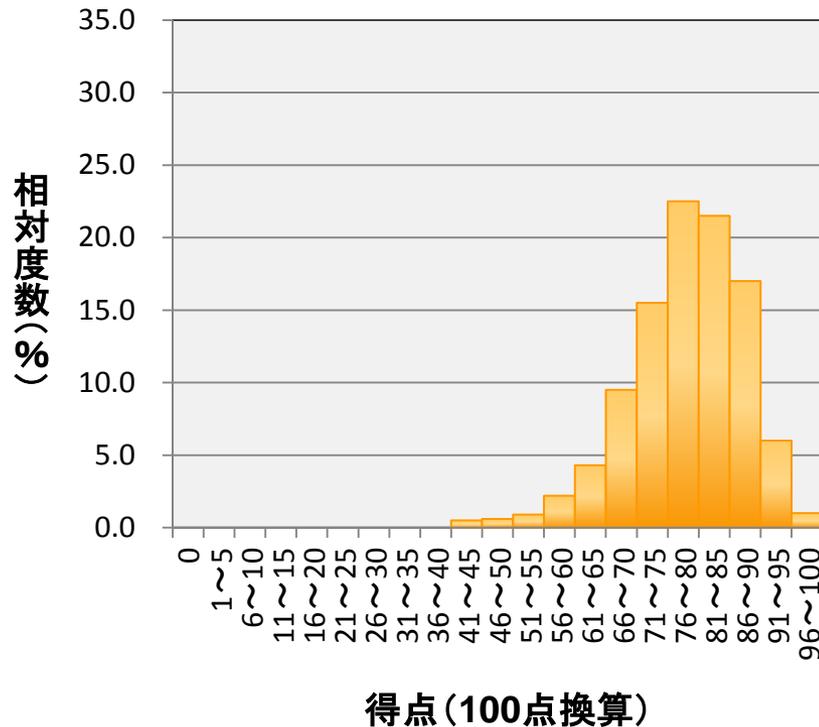


## IRT標準スコアの平均の推移

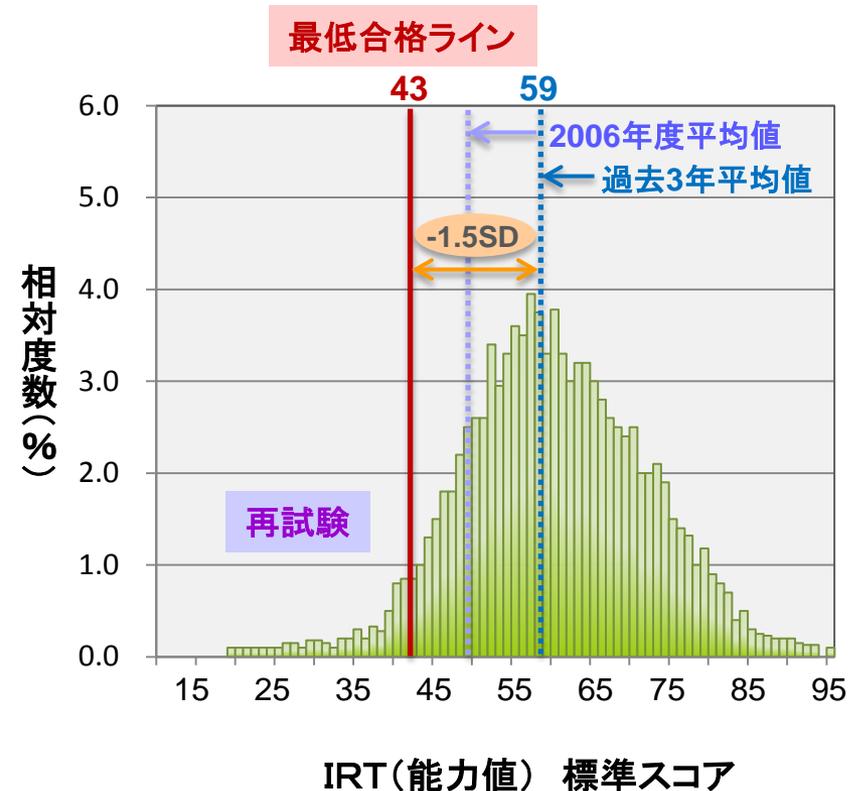


# 平成24年度(2012年度)CBT全国成績

## 素点(100点換算)の分布



## IRT 標準スコアの分布



# IRT 43の意味

- IRT値は項目反応理論による評価
  - CBTでは個人によって解答問題異なる
  - 問題難易度を考慮し、求められる能力値
- 過去3年間のIRT平均値  $-1.5$  SD
  - 全国で8600人を超える受験者
  - 500-600人の再試験受験者想定(1回可)
- 各大学においてIRT43未満の学生は明らかに「勉強不足」による「成績不良者」

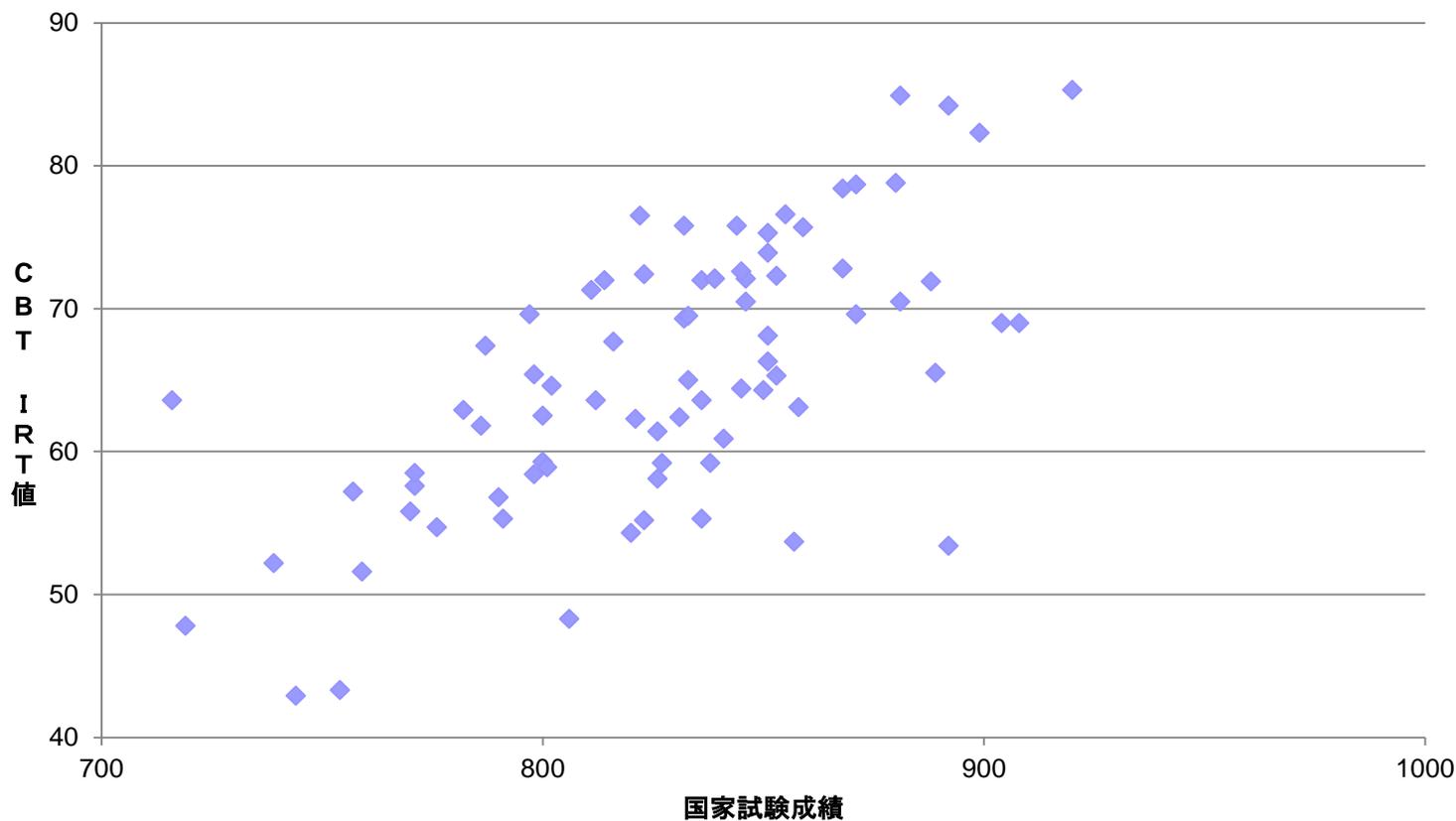
# IRT43を境とした医学生 of 留年・国試失敗率

- ・全国から9大学を抽出し、過去5年間の総計4339名の卒業医学生を分析(国立5大学、公立2大学、私立2大学)

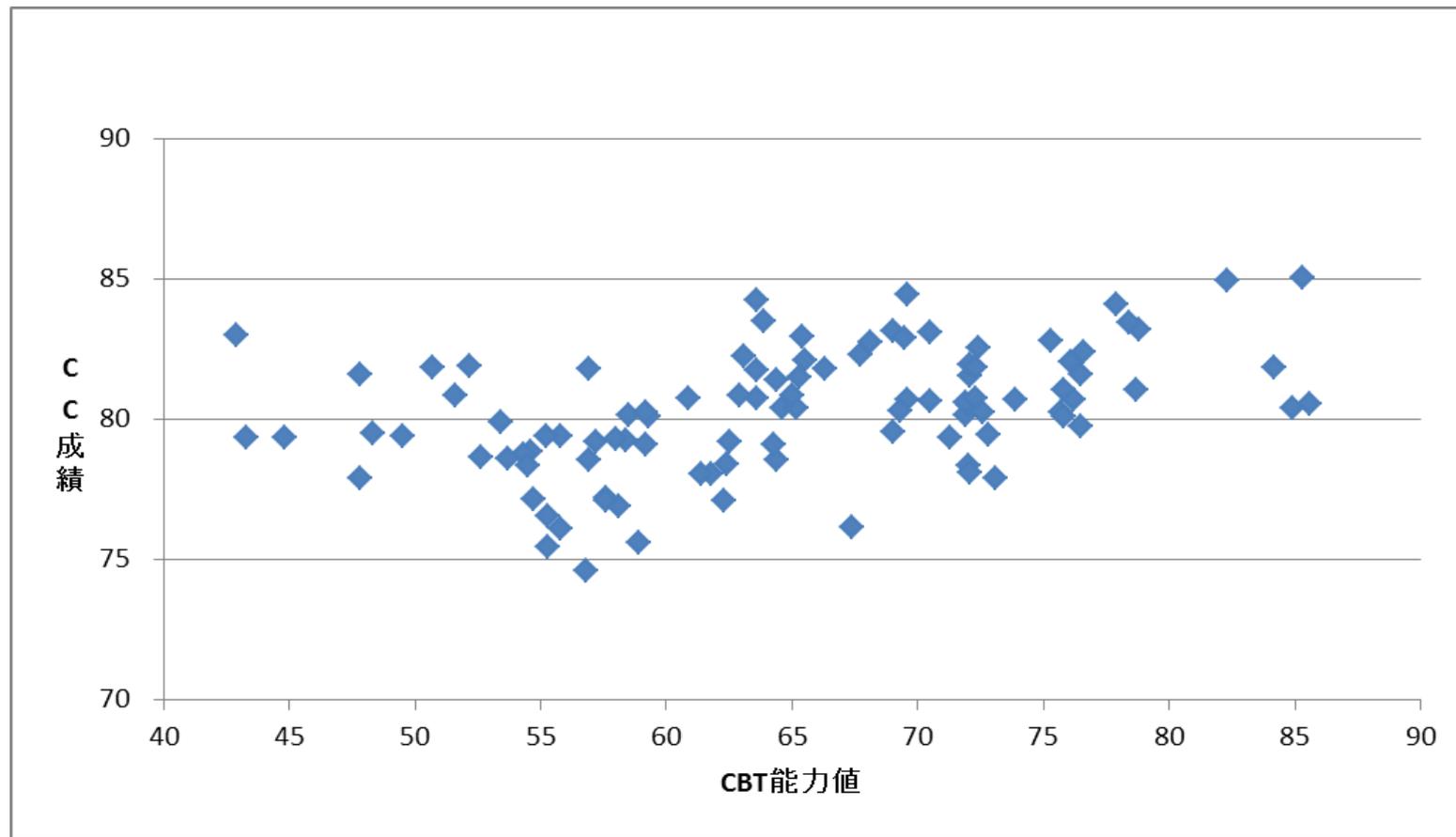
IRT43以上 留年経験率	IRT43以上 国試失敗経験率	IRT43未満 留年経験率	IRT43未満 国試失敗経験率
2.3 %	3.8 %	26.4 %	23.6 %

※複数の大学で検討したが、IRT値と医師国家試験との間にはきれいな相関関係が認められる

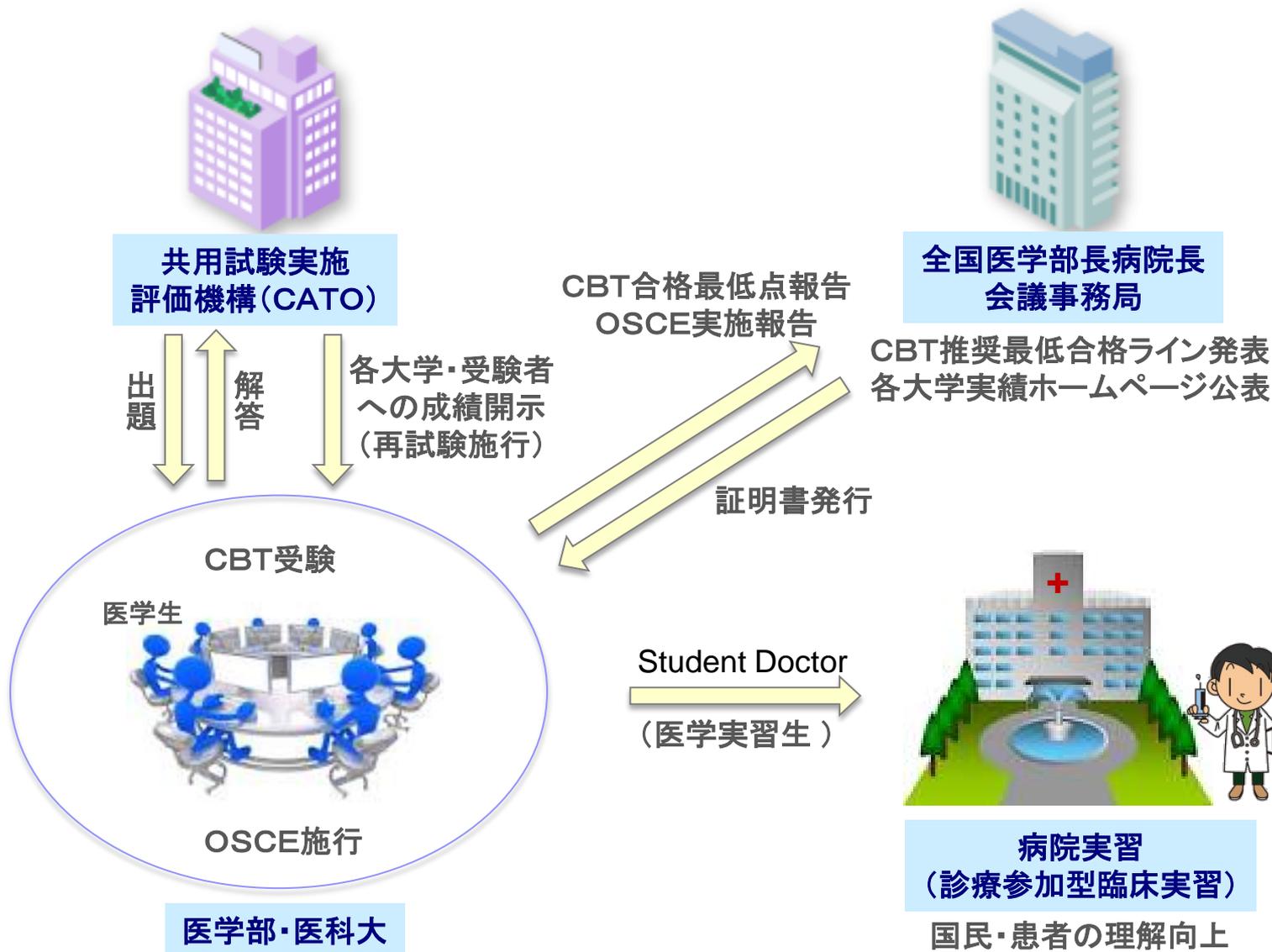
# IRT値と医師国家試験成績相関図



# IRT値と臨床実習成績相関図



# 共用試験全国統一医学生質保証システム



# 平成25年度Student Doctor認定証申請データ

- ・全国77大学から申請を受け、総計8393人の医学生にStudent Doctor認定証を発行

IRT43以上で合格として申請	IRT43以上で合格として申請	IRT43未満で合格として申請	IRT43未満で合格として申請
54大学	平均IRT 44.8	23大学	平均IRT 41.1

# 共用試験全国统一質保証システム

- CBTの統一合格水準の設定  
能力値(IRT)43を推奨最低合格ライン
- 適正なOSCEの実施と評価
- 各大学の独自試験による学生評価
- 各大学からの申請に基づく全国医学部長  
病院長会議の認定証発行
- 各大学のCBT最低合格ラインの公表
- 平成25、26年はトライアル年度

# 白衣式



医学生みずからが、医療チームの一員として社会に貢献する立場になると  
いうことを自覚して「誓いの言葉」を述べ、Student Doctorとしての心構えを  
促す重要な式典

# 平成25年度医学教育カリキュラムの調査

Q. 臨床実習を行う医学生に対し「スチューデントドクター」という呼称を与えることで附属病院や実習病院において何か問題が起きたことはありましたか

	国立	私立	公立	全国
あった	0	0	0	0
なかった	12	6	1	19
	12	6	1	19

※1大学は表示証名が複数あり上記質問には未回答

(大学)

呼称に関する問題は一切なかった

現在、スチューデントドクターという呼称に対する患者側の意見をアンケート調査中！

# 平成26年度80大学登録データ提出時期

- 各大学の共用試験(CBT・OSCE)と独自試験を合格し、進級が確定した学生のデータを提出できる時期

	H 26年					H27年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	未定
国立	1	3		1	2	2	1	32	1	
公立				1				7		
私立						2	1	24	1	1
合計	1	3		2	2	4	2	63	2	1

(大学)

※平成26年5月26日 80大学アンケートを実施

# 実施状況

<平成26年 10月 31日現在>

- ・全国80の医学部・医科大学にて実施予定

受取・確認 完了大学	認定証 発行作業中	認定証 郵送済・確認待ち	各大学 登録データ待ち
4大学 (国立4校)	0大学	0大学	76大学

いずれもIRT43以上にて申請！

平成26年度はIRT43以上でのみ認定書発行の方針

# Student Doctor 認定証デザイン

## Student Doctor 認定証

2014-00-000

全国医病会議大学 医学部

0123456 医学田 太郎

所属大学の申請に基づき、上記学生を **Student Doctor** と認定する。



平成 26 年 8 月  
一般社団法人 全国医学部長病院長会議  
会長 荒川 哲男

## 注意事項

- この認定証は他人に貸与あるいは譲渡してはならない。
- 臨床実習の際に携行すること。
- 患者さんあるいは病院教職員からの求めがあった場合には提示すること。
- 原則として紛失しても再発行しないので、大切に扱うこと。
- 所属大学に在籍している期間中に限り有効である。

一般社団法人 全国医学部長病院長会議  
Association of Japan Medical Colleges

〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-11 お茶の水プラザビル 4F  
TEL: 03-3813-4610 FAX: 03-3813-4660  
URL: <http://www.ajmc.jp/> E-mail: [info@ajmc.jp](mailto:info@ajmc.jp)



認定証には年度、大学番号、認定証の通し番号、大学、学部、学籍番号、氏名等が記載されている。裏面には注意事項が記載され、今年度からは有効期限(在学期間中)が記載される。

# 第108回医師国家試験アンケート調査結果

- 過度に難しい問題(専門医レベル)が再び増えていた
- 良問の割合が減少していた
- 臨床実習の成果を問う問題が多くなった
- 必修問題・禁忌肢の意図が不明
- 共用試験(CBT)と一般問題の重複少ない
- 3日間、500問の試験は極めてハード

(全国10大学の学生、教員へのアンケート)

# 医師国家試験の改善の方向性

- 難問・奇問の排除
- 臨床実習で学んだことを評価する問題を
- 問題数および試験日数の削減を検討
- 共用試験CBTとの重複を避ける
- Advanced OSCEの実施考慮（客観性・公平性の担保）
- 如何に相対的評価から絶対的評価に変えることが可能か